

FUREAINO MACHIZUKURI

滴 翠 会 会 報

2014
月刊

新 年 号

第277号

社会福祉法人 滴 翠 会

謹 賀 新 年

2014 元 旦

社会福祉法人 滴 翠 会

新しい年を迎えて

社会福祉法人滴翠会

理事長 高木 康夫

新年明けましておめでとうございます。
平成二十六年の新春を謹んでおよろこ
び申しあげます。

滴翠会各施設は、無事新しい年を迎
え、養護老人ホーム滴翠苑は三十八年、
救護施設慈翠館は三十六年、特別養護
老人ホーム明翠苑は三十三年、ユニッ
ト型明翠苑は八年、独立型デイサービ
スセンター華翠会館は二十五年の時を
重ねました。

昨年は救護施設慈翠館にスプリンク
ラーが新設され、これによって全施設
にスプリンクラーが完備されました。
更に、特別養護老人ホーム明翠苑では、
プロパンガスによる発電装置の工事が
進められ、一月中に完成の予定です。
防災に一段の重み加わることが期待
されます。

滴翠会会報は、新年号二七七号を発
行しました。今年もご愛読下します
ようお願い申し上げます。



26年 元 旦

●養護老人ホーム てきすいえん 滴翠苑だより

かすみがうら市横堀四五―一五
TEL 〇二九九―五九―三六三一

新年を迎えて

養護老人ホーム 滴翠苑

施設長 永井 剛

謹んで新春のご祝辞を申し上げます。
本年は滴翠苑創設三十八年目にあたり、人間に例えれば、まさに心身の充実に位置し、安定した施設運営が為されていると自負するものです。

しかし、私共を取り巻く厳しい社会情勢の下、自然災害の多発化、更には利用者様の心身機能の低下等により、滴翠苑の安全管理の有り方も大幅に修正を余儀なくされています。災害や救急時に対応したマニュアルや施設設備の見直しは、常に為されてはいますが、不測の事態への臨機応変で冷静な対応が出来る様、日頃からの緊張感の維持が肝要と考えます。

今年も職員一同気を引き締め、『安全安心のある施設を運営する』その様な心構えで勤めてまいります。

年頭の辞

一昨年は、十二月二十五日より、体調不良の利用者が続出し、万が一を考え、集会室に一堂に会する事を控え、年頭の辞を中止しました。

今年は、皆さん、揃って年頭の辞に出席し、お屠蘇^{とそ}で祝杯をあげ、新年のあいさつを交わす事が出来ました。

年の始めに、何よりも健康である事の大切さを実感し、これから二月までインフルエンザ・ノロウイルス等の感染症にかからない様に充分注意をしながら、元気に生活出来る事を心よりお祈りします。



今年の抱負

大関さん「野菜作りも一人になってしまったので、がんばって作りつづけます。」

荏原さん「健康のために草取りやゴミすてを続けていきたいです。又、他の利用者のお手伝いをし、役に立ちたいです。」

細川さん「文化祭にちりめんのくるみ絵を作って出品したいです。」

中嶋さん「砂漠にいる動物をモチーフにした刺しゅうを作りたいです。又、足の運動も続けたいです。」

奥庭さん「健康に注意して、和紙人形や刺し子を作りたいです。」

岡本さん「芝居見物をしてみたいです。」

山口さん「大洗など日帰り旅行に行きたいです。又、刺し子や毛糸でマフラーを作りたいです。」

小笹さん「昨年は文化祭にちぎり絵やはし入れを出品しましたが、今年は和紙人形やもっといういろいろな物を作ってみたいです。」

皆さん、健康に注意して抱負の実現に向けてがんばりましょう。

クリスマス会

十二月二十四日、クリスマス会が行われました。例年、慈翠館・明翠苑の皆さんをご招待して行われていましたが、今年から、感染症対策の一環として施設間の交流をかねてのクリスマス会は中止となりました。しかし、利用者様による「ジングルベル」「赤鼻のトナカイ」「おもちゃのチャチャチャ」の楽器演奏は皆さん楽しみにしているので例年通り行われました。楽器をもつ手にも力が入り、演奏中は自然と笑顔がこぼれます。又、「双六あめ玉取りゲーム」を行いました。サイコロをふって出た目の数だけ紙の上の区画を進み、区画に書いてある数のあめ玉をゲットします。昔なつかしいサイコロを使つてのゲームでしたので、全員の皆さんが参加され、楽しまれた様子でした。



クリスマス会

❁ 一月の行事

年頭の辞	一月 一日
初 釜	一月 八日
お誕生会・新年会	一月 三十日



元旦の理事長あいさつ

慈翠館だより

石岡市半の木一四六一
TEL 〇二九九―二四―二八七一

●救護施設

新年を迎えて

救護施設 慈翠館

施設長 吉田 和博

明けましておめでとうございます。また新しい一年のスタートです。年頭を迎えるたびに、今年一年が利用者お一人おひとりに平穏で安らかな日々でありますように、と願うばかりです。慈翠館においては、七十名の利用者それぞれの生活が繰り広げられることになるわけですが、そこには出来るだけ各人の個性が滲むよう配慮が求められます。

今、全国の救護施設では地域生活移行への対応が実践されています。ここにも利用者の皆さんの要望やこだわり・個性を十分に反映させてこそ真の自立生活と言えるものと思います。慈翠館でも、すでに実施している一時入所事業に加え、利用者の幅広い生活自立メニューについて計画から実践へとステップアップして取り組んでいきます。

本年もどうぞよろしく願っています。

新年の挨拶

慈翠館 みどり会

会長 坂主 正明

新年あけましておめでとうございます。

昨年は例年にも増して慈翠館から他の場所などに移った利用者や新しく一緒に生活を送る事になった方がとても多い年でした。

そんな中、利用者一同元気に楽しく生活出来た事を、会長としてとても嬉しく思います。それも利用者一人ひとりと職員の方々の協力があってこそこの事だと思います。

昨年は、何事もなく普通の生活が出来、年始を迎え改めて「普通が一番」と感じています。この「普通」という幸せがいつまでも続く様、日頃から施設と協力し合い、利用者同士助け合って生活して行きたいと思っています。



クリスマス忘年会の職員の演劇

クリスマス忘年会

今年のクリスマス忘年会は、十二月十八日に、にぎやかに行われました。石岡市地域活動障害者支援センター福祉作業所ひまわりの皆様十六名にも参加していただき、曲に合わせてステキなダンスを披露して下さいました。毎年の交流は、利用者も大きな楽しみの一つです。慈翠館利用者余興は、二グループに分かれ踊りを披露し、実習生による幕間のマジックショー、ハンドベル演奏も毎日練習を重ね、とても上手に行う事が出来ました。利用者も楽しみにしている今年の職員余興は、「おむすびころりん」の演劇でした。この日ばかりは、自分を忘れ扮装している職員を目の当たりにして、驚きと大爆笑の渦がおこっていました。昼食時は、ローストチキン、おやつにはイチゴのショートケーキを食べて大満足のようでした。皆さん、ステキな時間を過ごしました。

＊職員研修・会議

救護施設職員研修会

十二月 九日

福祉のお仕事魅力発見

十二月 十四日



＊一月の行事

新年式

一月 一日

初詣（葉彦神社）

一月 一日

初詣（金刀比羅神社）

一月 九日

初詣（笠間稲荷神社）

一月 十四日

誕生会

一月 十六日

初詣（笠間稲荷神社） 一月 二十二日



年頭の記念写真

●特別養護老人ホーム

明翠苑だより

 石岡市半の木一四八一一
 TEL 〇二九九一三三一九六二〇

新年を迎えて

特別養護老人ホーム 明翠苑

施設長 磯島

肇

新年明けましておめでとう御座います。

昨年は、ご家族を始め、ご利用者様、施設諸関係の方々のご指導、ご協力により物的・人的・災害等において大きな事故もなく穏やかに一年を過ごすことができました。改めて感謝申し上げます。

さて、今年の大きな動きとしては介護保険法改正により、九年目を迎えるユニットが、特別養護老人ホーム明翠苑より分かれ、県管轄から石岡市管轄に移り、地域密着型介護老人福祉施設に変わります。

また防災に関して、念願の大型発電機の設置が決定、あの震災時の停電による介護の不安が一部解消されることになりました。

今年も、『山あり谷あり』とは思いますが、昨年同様穏やかな年になるよう、願うとともに、「優しさ」「思いやり」「気配り」を基本とし、利用者の皆様が安心して楽しく生活できるよう、質の高いサービスの提供に努めてまいりますので、よろしくお願い致します。

新春を迎えて

明翠苑万寿会会長 仲 榮次郎

新年あけましておめでとうございます。昨年から万寿会会長を務めさせて頂いていただいています。今年もよろしくお祈りします。

昨年は八月に骨折で入院をしてしまいました。二週間で退院し、一ヶ月程で完治しましたが、あんな思いはもうしたくありません。私もまだまだ七十九才、今年はケガや体調を崩すことなく元気に過ごしたいと思っています。

また、地震も最近では比較的に落ち着いていますが、昨年は避難訓練にかさず参加しました。今後も気を引きしめて訓練に励んでいきます。

今年も皆さんが健康で楽しく過ごせるよう願っています。そして、来年の今頃に一年を振り返り、楽しかったと思える年にしてください。



初 詣

年頭の辞

元旦の九時三十分、華翠会館ホールにて利用者の皆さんと職員で「年頭の辞」が行われました。一同が新年の顔合わせということで、会場への移動中に利用者同士で新年のあいさつをする姿が見られました。

君が代を斉唱後、理事長から年頭のあいさつをいただきました。次に施設長、利用者代表で万寿会会長、職員代表で年女とそれぞれ年頭のあいさつをいただきました。最後に集合写真の撮影、カメラを持ったケアマネジャーの「体をひねると、よりきれいに写りますよ」の一言が皆さんの笑顔を際立たせてくれました。

今年一年の無病息災を願い、また皆様にとってより良い年になることを祈念し「年頭の辞」はお開きとなりました。その後は、希望者を募り、近くの神社へ初詣に出かけました。

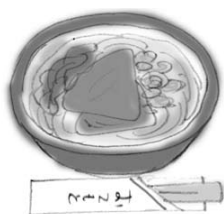
ふあみりー通信

十二月の出来事

十二月二日 座談会が行われ、利用者に食べたい物を伺うと「ラーメン・もつ煮込み・シウマイ」などが挙がりました。十六日のお昼には、シウマイが出され喜ばれていました。十二月十九・二十日 冬至が近づき、ゆず湯で体の芯まで温めていただきました。

十二月二十一日 クリスマス会が行われ、サンタの登場で大いに盛り上がり、プレゼントをいただきました。十二月三十一日 大晦日、年越しそば

でお腹を満たし、年末の雰囲気を感じていただきました。





新春かるたとり

デイサービスセンター 華翠会館だより

石岡市半の木一四八〇
TEL 〇二九九―二三―八二〇〇

新年を迎えて

デイサービスセンター華翠会館

センター長 磯島 肇

新年明けましておめでとう御座います。

昨年は、新日課で外部からマッサージボランティアを招き、ご利用者様に大好評でした。又、中庭を眺めながらの入浴をはじめ、クッキングやドライブ、リハビリ体操等いろいろなレクリエーションを行いながら楽しい日々を過ごしていただき、施設内での笑い声が絶えない一年でした。

ここ年々同事業者が増え、ご利用者様の高齢化等から利用者が減員してきておりますが、ご利用者様からの意見を聞きながら、一人でも多くの方が華翠会館に足を運んでももらえるよう、楽しい充実した一日が過ごすことができよう、行事、レクリエーションの充実を図りながら、質の高いサービスの提供に、努めて参りますので、今年もよろしくお願い致します。

今年の抱負

デイサービスセンター華翠会館

生活相談員 長谷川 恵美

新年明けましておめでとうございます。

昨年はご利用者様、ご家族の皆様、そして施設関係者の皆様のご協力により、一年間を無事に過ごす事ができ深く感謝しております。ありがとうございます。

さて、今年も昨年以上に様々な事にチャレンジし、ご利用者様が華翠会館に来て楽しかったと感じて頂くよう真心を持ってサービスを提供させて頂きますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

職員紹介

生活相談員 長谷川恵美
介護職員 皆川里津子

武富ゆりえ
石川 寛子

看護師 長谷川厚子
小嶋 明美

明翠苑居宅介護 支援センターだより

石岡市半の木一四八一一
TEL 〇二九九―二三―九六三四

皆さん、今年もお元気で

新年おめでとうございます。

平成二十五年は皆さんにとってどんな年でしたか？人生が変わるほどの重大な出来事があった人、穏やかに平穏な日々を送った人：それぞれに感慨深い一年間だったことでしょう。

私が仕事を通して出会った多くの人たちの中にも色々なドラマがありました。

要介護5の妻を介護する家族。生活の全てに介護が必要になります。主介護者である夫も高齢なため、長男夫婦の助けがなければ在宅での介護は難しいでしょう。初めは介護に縁のなかつ

た家族も、サービス事業所の職員のアドバイスを受けながら今では自信を持って介護しています。そして介護サービスを効果的に使う事で足りない部分を補いながら、介護する事を楽しんでいるように思います。

認知症が進み、ときどき普段のその人からは考えられないような行動をとる人がいます。そのたびに家族はどうすればいいかわからずに悩みます。その時その家族が思わず漏らした一言が衝撃的でした。『何の罰が当たってこんなことになってしまったの？』



認知症の場合、それまでとはまるで人格が変わってしまうこともあり、家族の戸惑いは半端なものではありません。相手が攻撃的な場合、受容的な態度をとることは難しいかもしれません。このような時はデイサービスやショートステイ等を利用して距離を置くようにしてはどうでしょうか。あるいは何かをきっかけに灯が見えれば介護を楽しめるのかとは思いますが…

介護する側と介護を受ける側。出会えたのも何かの縁です。気持ちの持ち方次第で良くもなるし悪くもなる。前向きに考える事が大切だと思います。

平成二十六年の幕が明けました。どんな年になるかはわかりませんが、希望を持って毎日を過ごして頂きたいと思います。

今年もよろしく願います。

ケアマネジャー 井川 由美子

私の^{メニュー}MENU

《カリフラワーとたらのスープ煮》

ビタミンC、食物繊維も豊かなカリフラワーの甘味と、ほろほろ口の中でくずれる食感が美味な一品です。

●材 料（2人分）

カリフラワー	150g
たら(切り身)	2切
葱	10cm
ごま油	小さじ2
片栗粉	小さじ1
赤唐辛子	少々
①水	3カップ
①鶏がらスープ素	小さじ½
豆板醤	小さじ½
正油	大さじ1
②塩	少々
②こしょう	少々

●作り方

- ①カリフラワーは小房に分ける。
- ②たらは、3～4等分に切る。ざるに入れ、熱湯をかける。
- ③葱は小口切りにする。
- ④鍋にごま油を熱して①をさっと炒め①を加えて熱する。
- ⑤煮立ったら②を入れ、あくを取りながら煮込む。
- ⑥②で調味し、片栗粉を大さじ1の水で溶いて加えとろみをつける。
- ⑦器に盛りつけ③をのせ好みに小口切赤唐辛子を飾る。

エネルギー 117kcal 塩分 1g

滴翠苑 管理栄養士 高田恵美子

新年あけましておめでとうございます

本年もよろしく

お願い致します。

「滴翠会会報」編集委員

滴翠苑

利用者の息づかいの感じられる記事を伝えられればと思います。

根本 一昭

日常の出来事をよりわかり易く、その空気感をお伝えできるような記事を書いていきます。

奥村 智

慈翠館

利用者の生活の様子が分かる様な読みやすい会報を作っていきたいと思っております。

久保田 景子

皆様が興味を持つて、毎号楽しみにしていただけるような記事を書いていきたいと思っております。

加藤 喜明

施設の様子をわかりやすく伝えていきたいと考えております。

松田 順一

明翠苑

昨年から記事を書かせていただいております。勤務三年目とひよっ子ですが、その分新たな視点で施設状況をお伝えしたいと思っております。

佐野 成

華翠会館

ご利用者様の楽しく元気な日常をお伝えしてゆきたいと思っております。

皆川 里津子

居宅介護支援センター

皆様に役立つ情報を、わかりやすく的確にお伝えできればと思います。

井川 由美子

